

## 新生児グループ

### 所属メンバー

- ・長 和俊 (准教授・診療教授、昭和 60 年卒)
- ・盛一 享徳 (助教、平成 9 年卒)
- ・秋元 琢真 (大学院 3 年、平成 15 年卒)
- ・兼次 洋介 (大学院 2 年、平成 16 年卒)
- ・森岡 圭太 (大学院 1 年、平成 17 年卒)

### 外来患者数 (2012 年 4 月～2013 年 3 月)

小児科新生児外来 708 人/年  
産科外来 (1 ヶ月健診) 277 人/年

### 体重区分別新生児数 (2011 年 1 月～12 月) 院内出生分

体重区分	新生児数	死亡数
～1,000g	14	2
1,000～1,500g	12	1
1,500～2,000g	27	2
2,000～2,500g	52	1
2,500～4,000g	222	2
4,000g～	3	0
計	303	8

院外出生 NICU 入院児数 8 例

### 多胎症例数

双胎 26 組 49 例  
品胎 1 組 3 例

### 研究内容

- ・新生児慢性肺疾患の病態解析
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による新生児新生児心不全発症予知
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による双胎間輸血症候群の重症度評価
- ・先天性肺胞蛋白症の病因解析
- ・遺伝性間質性肺疾患の診断システム開発
- ・胎児期における内分泌攪乱物質が性分化および性腺機能に及ぼす影響の研究
- ・新生児の睡眠・身体発達を促進する光環境の開発

## 著書

1. 長 和俊：新生児呼吸器疾患. 新・呼吸療法テキスト 呼吸療法認定士認定委員会（編） アトムス 東京：295-299, 2012
2. 長 和俊：胎便吸引症候群. 周産期診療ワークブック. 日本周産期・新生児医学会 教育・研修委員会（編）メジカルビュー社 東京：295-299, 2012

## 論文

1. 長 和俊：最新型の新生児用人工呼吸器. 小児科診療 75 巻 9 号：1491-1496, 2012
2. 長 和俊：後障がいをもった早産児の長期予後. 小児科 53 巻 8 号：1023-1027, 2012
3. 秋元琢真：呼吸にまつわる急性期管理. Neonatal Care 25 巻 11 号：1146-1152, 2012
4. 吉井一樹、山田 俊、加藤扶美、尾松徳彦、小山貴弘、赤石理奈、武田真光、西田竜太郎、山田崇弘、森川 守、長 和俊、寺江 聡、水上 尚典：胎児消化管奇形の出生前診断における骨盤内 MRI T1 強調画像の有用性についての検討. 北海道産科婦人科学会誌 57 巻 1 号：79-85, 2013
5. 茨 聡、和田尚弘、大曾根義輝、加藤英二、澤田真理子、長 和俊、徳久琢也、中澤祐介、早川昌弘、廣間武彦、前出喜信、山本 裕、芳本誠司、楠田 聡：日本未熟児新生児学会医療の標準化検討委員会. 体外循環による新生児急性血液浄化療法ガイドライン. 日本未熟児新生児学会雑誌 25 巻 1 号：89-97, 2013
6. 長 和俊、兼次洋介：サーファクタント補充療法. 周産期医学 42 巻 12 号：1567-1571, 2012
7. 石川聡司、山田 俊、小島崇史、小山貴弘、武田真光、西田竜太郎、山田崇弘、森川 守、武井黄太、上野倫彦、盛一享徳、長 和俊、水上尚典：胎児心拍パターンから胎児 QT 延長症候群が疑われた 1 例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 48 巻 1 号：131-135, 2012
8. 浅野 剛、黒田 敏、寶金清博、吉田大介、長 和俊、白石秀明、齋藤伸治：塞栓術後に硬膜動静脈瘻が発生した新生児ガレン大静脈瘤の 1 例. Neurological Surgery 40 巻 6 号：519-525, 2012
9. 長 和俊：新生児診療における血液検査データの解釈. 臨床検査 56 巻 7 号：711-716, 2012
10. 長 和俊：新生児の疾病構造. 家畜診療 59 巻 4 号：201-207, 2012
11. Moriichi A, Cho K, Furuse Y, Akimoto T, Kaneshi Y, Yamada T, Morikawa M, Yamada T and Minakami H: B-type natriuretic peptide levels are correlated with birth-weight discordance in monochorionic-diamniotic twins without twin-twin transfusion syndrome. J Perinatol 33(3): 182-187, 2013
12. Morikawa M, Cho K, Yamada T, Yamada T, Sato S and Minakami H: Clinical features and short-term outcomes of triplet pregnancies in Japan. Int J Gynaecol Obstet 121(1): 86-90, 2013

13. Yamada T, Takagi M, Nishimura G, Akaishi R, Furuta I, Morikawa M, Yamada T, Cho K, Sawai H, Ikegawa S, Hasegawa T and Minakami H: Recurrence of osteogenesis imperfecta due to maternal mosaicism of a novel COL1A1 mutation. Am J Med Genet A, 2012 Sep 17 [Epub ahead of print]
14. Yamada T, Morikawa M, Yamada T, Kishi R, Sengoku K, Endo T, Saito T, Cho K and Minakami: First-trimester serum folate levels and subsequent risk of abortion and preterm birth among Japanese women with singleton pregnancies. Arch Gynecol Obstet, 2012 Aug 9 [Epub ahead of print]

## 学会発表

1. 長 和俊: 新生児科医からみた17-OHP マスクリーニングの問題点. 第6回新生児内分泌研究会学術集会、京都、2012/9/15
2. 兼次洋介: サーファクタント補充療法-総論. 第25回新生児慢性肺疾患研究会、岡山、2012/11/10
3. 兼次洋介: サーファクタント補充療法-総論. 第57回日本未熟児新生児学会、熊本、2012/11/25-27
4. 長 和俊: サーファクタント補充療法ガイドライン-座長のキーノート. 第57回日本未熟児新生児学会、熊本、2012/11/25-27
5. 盛一享徳: 体重差のある一絨毛膜二羊膜双胎では臍帯血および羊水中B型ナトリウム利尿ペプチドが上昇している. 第48回日本周産期・新生児医学会、大宮、2012/7/8-10
6. 秋元琢真: 新生児間質性肺疾患に対する診断支援. 第25回北海道新生児談話会、札幌、2012/10/21
7. 兼次洋介: サーファクタント補充療法ガイドライン-総論. 第15回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム、長野、2013/2/14-16
8. 長 和俊: サーファクタント補充療法ガイドライン-座長のキーノート. 第15回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム、長野、2013/2/14-16

## 講習会

1. 長 和俊: 新生児の病態理解に基づく呼吸循環ケア. Covidien 周産期・新生児ケアセミナー、仙台、2012/5/27
2. 長 和俊: 新生児蘇生法講習. WINDサマーセミナー、小樽、2012/6/19

3. 長 和俊、山田 俊、兼次洋介、赤石理奈：第 1 回新生児蘇生法インストラクター養成コース講習会、札幌、2012/6/30
4. 長 和俊：天使大学助産研究科第 1 回新生児蘇生法「一次」コース講習会、札幌、2012/8/19
5. 長 和俊：新生児のプライマリーケア. 第 89 回北海道産婦人科医会学術研修会、札幌、2012/8/26
6. 長 和俊、兼次洋介、赤石理奈：WIND 第 2 回新生児蘇生法「専門」コース講習会、札幌、2012/9/30
7. 長 和俊、兼次洋介：北海道小児科セミナー2012（新生児蘇生法講習）、ルスツ、2012/10/6
8. 長 和俊、赤石理奈：北海道助産師会第 4 回新生児蘇生法「専門」コース講習会、札幌、2012/10/14
9. 長 和俊：小児肺胞蛋白症. 第 4 回肺胞蛋白症勉強会、東京、2012/10/20
10. 兼次洋介：第 1 回町立別海病院主催新生児蘇生法講習会、別海、2012/11/17
11. 兼次洋介：第 2 回町立別海病院主催新生児蘇生法講習会、別海、2013/1/27

## 社会貢献

- ・長 和俊：JAICA（フランス語圏）新生児医療講習会、北海道大学保健科学院、2012/10/31

## 学会活動

周産期・新生児医学会

評議員，周産期シンポジウム運営委員（長）

日本未熟児新生児学会

理事（長）

日本産婦人科・新生児血液学会

評議員（長）

日本新生児医療連絡会

役員（長）

日本臨床モニター学会

評議員（長）

日本肺サーファクタント・界面医学会

理事（長）

日本小児保健学会

評議員（長）